

2015 12/8

No.2008

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



横浜DeNAの新人7選手と育成3選手の入団会見が11月27日、横浜市内のホテルで開かれ、意気込みを語った。Vサインでラミレス監督を囲む新入団選手。(前列左から)綾部、柴田、今永、熊原、戸柱、青柳、(後列左から)網谷、野川(1人おいて)山本、田村。



# 政経かながわ

2015 12/8 No.2008

## contents

### 視点・点描

世界を救う魔法の処理器 3

### 講演録

動乱の世界情勢と日露関係 4

新潟県立大学教授 青山学院大学名誉教授 褐田 茂樹

### 政治

「日本でテロ」に不安79% 8

臨時国会なし、過半数が批判

### 科学

「もんじゅ」廃炉の可能性も 10

見直し迫られる核燃料サイクル

### 企業最前線

エアコン各社、業務用を強化 12

海外市場にらみ戦略展開

### くらし2015

厚い“障害者65歳の壁” 14

厚い“障害者65歳の壁”

### 広告珍談

広告はたのしい⑤ 16

辞典はたのもしい

### NNAアジア経済リポート

17

### 会員のページ

設立50周年は来年4月に(その17)講演録抄録⑦ 18

会員の動き

### 会員のページ

設立50周年は来年4月に(その17)講演録抄録⑦ 19

### 事務局だより

#### ◇横浜定例講演会・交流会

2015年12月11日(金)

横浜ベイシェラトンホテル＆タ  
ワーズ

#### ▽講演会（シンポジウム）

11時～12時30分、4階「浜風」

講師は共同通信社政治部長・

小渕敏郎氏、同経済部長・東

隆行氏、同外信部長・沢井俊

光氏、神奈川新聞社取締役論

説主幹・林義亮氏

演題は「2016年の動向を読む」

#### ▽交流会

12時40分～14時、4階「清流」

#### ◇横浜定例講演会

2016年1月20日(水)

13時30分～15時

崎陽軒本店4階「ダイナスティー」

講師は日本理化学工業会長の

大山泰弘氏

演題は「真の福祉国家を実現し

よう～知的障害者に導かれた企

業経営から～」

# 視点



## 世界を救う魔法の処理器

1年余り前から「キエーロ」という名の生ごみ処理器について何本も記事を書いています。葉山町に住む夫妻が考案したので、電力も火力も薬品も使わず、自然の力だけで生ごみを消せる。追加費用はかかるず、生ごみを埋め続けてもかさが増えない。その性能に着目し、県内をはじめ全国の自治体が購入費補助やモニターの制度を設け、普及を進めている。

20年ほど前、市販のコンポストを購入したが、大量に湧



キエーロ普及と生ごみ削減に力を入れる市民や行政が取り組みなどを紹介した第2回キエーロシンポジウムの閉会後。前列左が考案者の夫妻で、手前がキエーロ=10月30日、逗子市役所

く虫と悪臭に辟易し、自宅での生ごみ処理を断念した。それゆえ、キエーロにもさほどの期待は寄せなかつたが、使い始めて驚いた。天候などによって期間に差はあるが、何事もなかつたかのように、生ごみが消えていくのだ。

一般廃棄物の収集、運搬、処分は市町村の役割で、地方自治体の財政を圧迫している。例えば、葉山町や逗子市では一般会計予算の1割以上が一般廃棄物の処理費用であり、生ごみ削減は自治体の財政健全化にも直結するテーマだ。

1割以上が一般廃棄物の処理費用であり、生ごみ削減は自治体の財政健全化にも直結するテーマだ。

地の雇用を創出した製造のパタークンもある。愛用する首長からは「キエーロは単なる箱だが、世界を救える」との声も上がっているが、決して大げさな形容ではない。環境や財政など多方面の課題を解決できる有力な手段であると私も確信しております、折に触れて推奨している。

(神奈川新聞社経済部長

渋谷 文彦

## 辞典はたのもしい

ボクはブリタニカなど、4種類ある。

の百科辞典をそばに置いて仕事している。おなじ項目でも、辞典によつて表現がちがうからおもしろい。

『大英百科全書』と呼ばれる Britannica の広告が、日本新聞に初めて掲載されたのは、1902（明治35）年12月といふ。小さなスペースで、くりかえし載せられた。たしかに広告は、反復する方がキキメがあると思ふ。ところが翌年の03（明治36）年1月元旦、図の全ページ広告が掲載された。日英同盟協約が調印されて仲良し仲間。

「日本における新しい企画である」と英文で掲げて、ロンドンタイムスがエンサイクロペディア・ブリタニカを日本で発売すると。もちろん邦訳された、日本語版で申込みは、横

ある。

ロンドンタイムスはイギリスの高級日刊紙『タイムス』のこと。

正確な報道と論説は、世界的に影響力が大きく、確固たる地位を築いた。そんな新聞とブリタニカがどんな関係か知らないが、読者はきっと信じられるいい辞典と思つたにちがいない。

価格は装丁によつてことなる。

総クロース製の

175円から総

皮製の285円

まで、4段階。

そのころ慶応

大学文科系の

1年間の授業料

は、48円であつた。

浜山下町70番地の「倫敦タイムス」日本支社」とある。

広告のまん中にあるイラストは、専用の回転式本ダナ。斜めの板は、ずつしりと重い辞典をのせて読む、受座らしい。辞典とは別売りで30円とある。こんなカンロ

クある本ダナを据えつける家宅は、そろそろあるはずない。だけど5000組の販売予定が、たちまち3000組を追加したという。

イギリスでは日本の文化水準の高さにおどろき、代金もすべて払い込まれて信頼性を確認。タイム

百科事典》(31)がある。

はてこのイラストを見て、野毛のバー「パパ・ジョン」の回転タバコを思いだした。辞典ではなく、ウイスキーなど、いろんなボトルが乗せられて、マスターの手で回る回る、ボクもまわる。

(美術工ッセイスト、茅ヶ崎市在住)。図は『大英百科全書』の広告・1903(明治36)

年正月元旦、朝日新聞掲載スは『日本人の高い信用』と題して社説を書いたとか。

百科事典のルーツはローマ時代、ブリニウスの『博物誌』や、中国・後漢の『釈名』、日本は平安時代の『和名類聚抄』とされる。近代になつて、イギリスの『チャーチバーズ』(1728)、フランスの『ラルース』(1852)、ドイツの『マイヤー』(55)、ソビエト大百科事典』(1947)、平凡社の大

百科事典』(1947)、中国の『古今考略』(1952)、日本は『大英百科事典』(1952)、日本は『大英百科事典』(1952)、日本は『大英百科事典』(1952)

